

第1回 豊橋ライブデモンストレーションコース

TOYOHASHI

LIVE DEMONSTRATION COURSE

技術の伝承
そして、さらなる進歩へ

2011.10.20 (Thu) - 22 (Sat)

ホテル日航豊橋 / 代表世話人 鈴木 孝彦

第1回 豊橋ライブデモンストレーションコース開催にあたり

第1回 豊橋ライブデモンストレーションコース
代表世話人 鈴木 孝彦
(豊橋ハートセンター 院長)

経皮的冠動脈インターベンション(PCI)はバルーン形成術から始まり、その後、ニューデバイス時代を経て、ステント、そして、現在は薬物溶出ステント(DES)の時代となりました。それに伴い、臨床成績は向上し、適応の拡大には目を見張るものがあります。その一方で、技術的に治療が困難である複雑病変が多いという現実が存在します。そのため施設間の格差も著しく開いているのが現状です。

PCIの研究会には経皮的冠動脈形成術(PTCA)を最初に施行したAndreas Gruentzig以来、ライブデモンストレーションで教育するというシステムが導入され、その普及や発展に多大な役割を果たしています。しかしながら、現在のライブデモンストレーションは教育という本来の趣旨から少しかけ離れて来ている面も多くあるように思えます。

技術革新に伴い、PCIに用いるデバイスの進歩は目覚ましく、単純病変の治療においては多くの平均的術者が良好な結果を得られるまでになっています。しかし、技術なくしては成功に導けない複雑病変に対する治療には、依然課題が残されています。

東海ライブ研究会が主催する第1回 豊橋ライブデモンストレーションコースでは、主に初級者から中級者のレベルアップを図るべく、複雑病変の治療に焦点を当て、単にライブを行うだけでなく、参加者に技術的な面と学術的な面の双方向から教育的な内容を提供することを目指します。分岐部病変、慢性

完全閉塞病変、高度石灰化病変等の、病変毎に分けた徹底した教育コースを設け、その中には知識のみでは補いきれない、それらの病変の治療を理論的に成功に導くための解剖学や画像の読み方にも焦点を当て、理論的に技術を進化させるプログラムを含めました。

本コースでは、教育に重きをおき、初心者やカテール室で重要な役割を担うコメディカルスタッフに対しても、学べる場を提供いたします。カテール室では、患者の命を救うという使命のもと医師を含めた医療従事者は皆平等の立場であり、それ故にコメディカルの担う責任も大きく、コメディカルに対する真の教育コースに対するニーズが高まっています。そこで本コースでは看護師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師のそれぞれの立場からチームの一員としての役割までを主要施設から迎えた講師のもとで徹底的に学んでもらう場を設けました。

また、PCIの適応拡大に伴い、様々な疾患を合併する症例も多く、必然的に全身管理の重要性も指摘されています。本コースではPCIを受ける患者に対する薬物療法や全身管理にも力点を置いていきたいと考えます。

このコースを通じて、これまでに我々が培ってきた経験と技術を次世代に伝承し、参加したすべての医療従事者の明日からの治療に役立てていただくことを心から願っております。

ORGANIZING COMMITTEE

代表世話人

鈴木 孝彦 豊橋ハートセンター

東海ライブ研究会 世話人 (五十音順)

加藤 修 第1回 豊橋ライブスーパーバイザー
西川 英郎 三重ハートセンター
平山 治雄 名古屋第二赤十字病院

コース 世話人 (五十音順)

朝倉 靖 豊橋ハートセンター
稲田 毅 岐阜ハートセンター
上野 勝己 岐阜ハートセンター
木下 順久 豊橋ハートセンター

土谷 浩一 [独] 物質・材料研究機構
本江 純子 岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院
松井 英夫 松井医院
松原 徹夫 名古屋ハートセンター

Faculty Members (五十音順)

赤坂 隆史 和歌山県立医科大学
味噌 正純 陶生病院
芦田 和博 横浜新都市脳神経外科病院
五十嵐 慶一 北海道社会保険病院
五十嵐 康己 北海道社会保険病院
池野 文昭 Stanford University
井澤 英夫 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
石井 秀樹 名古屋大学
石原 正治 広島市立広島市民病院
石原 一彦 東京大学
一色 高明 帝京大学
伊藤 良明 済生会横浜市東部病院
井上 勝美 小倉記念病院
岩崎 清隆 早稲田大学高等研究所
岩淵 成志 小倉記念病院
上田 欽造 洛和会丸太町病院
上野 高史 久留米大学
宇佐美 潤 豊橋市民病院
氏家 勇一 星総合病院
臼田 和生 富山県立中央病院
榎 学 東京大学
江原 真理子 豊橋ハートセンター
及川 裕二 心臓血管研究所付属病院
大辻 悟 東宝塚さとう病院
大手 信之 名古屋市立大学
岡田 尚之 聖隷浜松病院
岡村 篤徳 桜橋渡辺病院
長内 宏之 陶生病院
鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック
金城 昌明 市立四日市病院
金谷 法忍 石川県立中央病院

金子 鎮二 豊田厚生病院
神谷 春雄 名古屋第一赤十字病院
川崎 友裕 新古賀病院
木島 幹博 星総合病院
北山 道彦 金沢医科大学
木村 祐之 豊橋ハートセンター
栗田 泰郎 豊橋ハートセンター
近藤 泰三 小牧市民病院
坂本 知浩 済生会熊本病院
桜田 真己 所沢ハートセンター
佐田 政隆 徳島大学
新家 俊郎 神戸大学
鈴木 頼快 名古屋ハートセンター
鈴木 健 豊川市民病院
角辻 暁 大阪大学 / 野崎・名古屋徳洲会病院
諏訪 哲 順天堂大学医学部附属静岡病院
園田 信成 産業医科大学
高島 浩明 愛知医科大学
高野 雅充 日本医科大学千葉北総病院
田口 哲志 [独] 物質・材料研究機構
田中 信大 東京医科大学
田邊 健吾 三井記念病院
千葉 千葉 東北大学
陳 国平 [独] 物質・材料研究機構
土金 悦夫 豊橋ハートセンター
寺島 充康 豊橋ハートセンター
土井 修 静岡県立総合病院
土肥 智貴 順天堂大学
豊福 守 土谷総合病院
中村 正人 東邦大学医療センター大橋病院
長山 雅俊 榊原記念病院

那須 賢哉 豊橋ハートセンター
 七里 守 名古屋第二赤十字病院
 西垣 和彦 岐阜大学
 西川 政勝 三重大学
 野崎 洋一 北光記念病院
 羽尾 裕之 兵庫医科大学
 羽原 真人 豊橋ハートセンター
 濱寄 裕司 昭和大学
 挽地 裕 佐賀大学
 平光 伸也 平光ハートクリニック
 藤井 健一 兵庫医科大学
 藤田 勉 札幌心臓血管クリニック

細川 博昭 ひがし循環器クリニック
 正村 克彦 中村病院
 松尾 仁司 岐阜ハートセンター
 松原 隆夫 石川県立中央病院
 村里 嘉信 新行橋病院
 村松 俊哉 済生会横浜市東部病院
 森野 禎浩 岩手医科大学
 山田 純生 名古屋大学
 山根 正久 石心会狭山病院
 山本 玲子 [独] 物質・材料研究機構
 横井 宏佳 小倉記念病院
 若見 和明 名古屋市立大学

🟡 コメディカル Faculty Members (五十音順)

赤松 俊二 滋賀県立成人病センター
 井澤 和大 聖マリアンナ医科大学
 大竹 恵 春日井市民病院
 大築 理和 岐阜ハートセンター
 川合 正人 名古屋ハートセンター
 木下 昌樹 岡崎市民病院
 口ノ町 俊嗣 豊橋ハートセンター
 島袋 朋子 湘南鎌倉総合病院
 清水 速人 倉敷中央病院
 杉本 邦彦 藤田保健衛生大学病院

添田 信之 星総合病院
 武田 和也 榊原記念病院
 辻井 正人 三重ハートセンター
 友松 美穂 春日井市民病院
 中村 康雄 富士病院
 納口 英次 心臓血管研究所付属病院
 平田 和也 北海道社会保険病院
 山口 敏和 名古屋ハートセンター
 渡邊 和樹 ハートクリニックさわだ

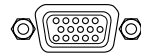
[独]: 独立行政法人

【演者・座長・コメンテーターの皆様へ】

演者:

1) 発表について

- ① 演者の先生は、セッション開始30分前までに、各会場内の「PC受付」にPCをお預けください。
 ※ 接続チェックおよび、試写確認をしていただきます。
 ※ 音声は入りません。
- ② PCプレゼンテーションのみとなります。スライド、ビデオは使用できません。
- ③ PC本体およびACアダプターは、ご自身でご持参ください。
- ④ 接続トラブルなどの場合に備え、バックアップCD-ROM又はUSBメモリをご準備ください。
- ⑤ 接続はMini D-sub15ピン3列コネクタ(通常のモニター端子)となります。持ち込みをされるパソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は接続用の端子をご持参下さい。
- ⑥ 液晶プロジェクターの解像度は、VGA(640×480)、SVGA(800×600)、XGA(1024×768)に対応しています。



2) 進行

- ① 座長の進行により、発表・討論を行ってください。
- ② 演者は、発表時間10分前までに会場の「次演者席」にご着席ください。

座長・コメンテーター:

- 1) 座長・コメンテーターの先生は、担当セッション開始の15分前までに会場内の「次座長席」にご着席ください。
- 2) ご担当のセッションの開始及び終了時刻を厳守いただき、座長のご判断で進行をお願い致します。

PROGRAM AT A GLANCE

10月20日 木	10月20日											
	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00						
ホリデイホール C												
ホリデイホール D	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00						
ホリデイホール C	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00						
ホリデイホール B												
ホリデイホール A												
桜の間												
10月21日 金	10月21日											
	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00						
ホリデイホール D												
ホリデイホール C												
ホリデイホール B												
ホリデイホール A												
桜の間												
10月22日 土	10月22日											
	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00						
ホリデイホール D												
ホリデイホール C												
ホリデイホール B												
ホリデイホール A												
桜の間												
楓の間												
桐の間												

2011年10月12日現在

18:00		19:00		20:00		21:00		22:00					
OCT 症例討論会 @ 豊橋ライブ P.24 共催： 関グッドマン、 セント・ジュード・メディカル㈱				症例検討会 P.24 共催： ボストン・サイエンティフィック ジャパン㈱									
14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00			
CTO コース ライブデモンストレーション 【第一部】 P.15		P.25 共催： ニプロ㈱		CTO コース ライブデモンストレーション 【第二部】 P.15		P.26 共催：朝日 インテック㈱/ノ 朝日インテック J セールス㈱		Call for Cases - Impressive case of the year - P.26 共催： アポット バスキュラー ジャパン㈱					
Calcification コース A to Z セッション 【Part 1】 P.16		P.27 共催： オーパスネイチ メディカル㈱		Calcification コース A to Z セッション 【Part 2】 P.16		P.27 共催： ボストン・サイエンティフィック ジャパン㈱							
石灰化病変に 対する デバイスと テクニク		デシリキング vs Non-デシリ キング 治療戦略		石灰化病変に おける 合併症と対策		石灰化病変の 臨床成績 - 至適アウト カムを求めて -							
PCI コース A to Z セッション 【Part 1】 P.12		P.28 共催： 日本 ベリンガー イングルハイム ㈱		PCI コース A to Z セッション 【Part 2】 P.12		再狭窄の 原因と 対策		薬物溶出 ステントの 開発の経緯と 最新デバイス		長期予後 改善に向けた 術後の管理			
PCI に必要な 画像の読み方		PCI に用いる デバイス											
インダストリーコース 情報交換会 P.20													
14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00			
Calcification コース ライブデモンストレーション 【第一部】 P.17		P.29 共催：ボストン・サ イエンティフィック ジャパン㈱		Calcification コース ライブデモンストレーション 【第二部】 P.17									
Bifurcation コース A to Z セッション 【Part 1】 P.14		P.30 共催： ジョンソン・ エンド ジョンソン㈱		Bifurcation コース A to Z セッション 【Part 2】 P.14		分枝部ステ ンディング - 心臓 CT から見た 各種 ステントの 特徴 の検証 -		材料工学 から見た 各種 ステントの 特徴					
分枝部と 分枝部 ステントの 病理		分枝部の 画像診断		分枝部の 形態学									
コメディカルコース 教育セッション 【Part 1】 P.22		P.30 共催： ゼン メディカル㈱		コメディカルコース 教育セッション 【Part 2】 P.22		補助循環		合併症の 基礎		MDCT の基礎			
心臓図・ 心内圧の 基礎		ベース メーカ の 組み込み の 基礎		デバイス		デバイス							
イメージングコース A to Z セッション 【Part 1】 P.18		P.32 共催： 第一三共㈱		イメージングコース A to Z セッション 【Part 2】 P.18		血管内 視鏡のPCI への応用 - 各種 DES の 被覆状態 -		Physiological Assessment vs IVUS ガイド PCI - 各種 DES の 判定基準 -		P.00 プログラム掲載ページ			
冠動脈 CT: 実地臨床 における CT 画像 の使い方		Grayscale IVUS - IVUS ガイド PCI の 基本編 -		OCTガイド PCIと 各種 DES のストラ ット被覆 状態						☀ モーニングブレイクセミナー			
長期予後改善コース エキスパート ディベート 【Part 2】 P.19		P.33 共催： 田辺三菱製薬㈱		長期予後改善コース エキスパート ディベート 【Part 3】 P.19		服薬異常： LDL コレステロールは どこまで下げるべきか？		🍴 ランチョンセミナー					
高血圧： ACEI と ARB の どちらが first choice か？								☕ コーヒーブレイクセミナー					
								🍷 お飲物、又はお食事あり					

PCI コース

PCI コース

COURSE OBJECTIVES

術者、技術者、医療情報担当者に伝える
PCIのA to ZPCI コース世話人 上野 勝己
(岐阜ハートセンター)

1977年9月にスイスでAndreas Gruentzigが第1例目の経皮的バルーン形成術を成功させて以来、30年以上が経過しました。血管形成術はその後も成功率の向上と慢性期再狭窄克服に向けて進化を続け、ステント時代へと移行し、現在では薬物溶出ステント(DES)の時代となり、本邦でもDESが導入され、7年が経過しようとしています。

古より、賢者は歴史に学ぶという言葉がありますように、本コースでは先人が低侵襲治療に至った歴史や再狭窄克服に向けて切磋琢磨して獲得した知識と経験を学んでいただけます。また、デバイスの開発の経緯や、その材質などにも迫り、世界のデバイスの開発状況などについても専門家に講義をお願いします。

このコースは、循環器内科医やコメディカルのみならず、日々、我々の身近で営業活動に励んでおられる、企業の医学情報担当者(MR)、マーケティング担当者、並びに研究者の方々にもご参加いただき、自らの知識レベルを高め、日常業務に生かしていただきたいと考えております。

PCIコース A to Zセッション

10月21日(金) ホリデイホールA

【Part 1】 13:00-14:30

座長：上野 勝己（岐阜ハートセンター）

13:00 冠動脈造影、PCIの歴史と現在

CAG、PCIの歴史（国内、海外）

西川 英郎（三重ハートセンター）

13:30 PCIに必要な画像の読み方

冠動脈造影法、血管内超音波法、CT造影法、
光干渉断層計

本江 純子

（岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院）

14:00 PCIに用いるデバイス

ワイヤ、ガイディングカテーテル、バルーン、
ステント、各種デバイスの使い方と特性

上田 欽造（洛和会丸太町病院）

【Part 2】 15:30-17:00

座長：上野 勝己（岐阜ハートセンター）

15:30 再狭窄の原因と対策

再狭窄の機序、原因と対策、再狭窄抑制治療

井上 勝美（小倉記念病院）

16:00 薬物溶出ステントの開発の経緯と最新デバイス

DES開発の経緯、DESのメカニズム、DES各種と
その特徴、次世代のDES

田邊 健吾（三井記念病院）

16:30 長期予後改善に向けた術後の管理

術前、術中、術後の薬物療法、術後の管理
（脂質、高血圧、糖尿病）

横井 宏佳（小倉記念病院）

Bifurcation コース

Bifurcation コース

COURSE OBJECTIVES

エキスパートが追求した Optimal Bifurcation Technique

Bifurcation コース世話人 木下 順久
(豊橋ハートセンター)

薬物溶出ステント(DES)の導入に伴いこれまでPCIのアキレス腱とされてきた再狭窄率は著しく低下したとはいえ、分岐部病変については未だ課題が残されています。分岐部では解剖学的な要因により、ステントが血管壁に完全に密着せず、ステントフリーゾーンでの再狭窄が我々術者を悩ませ続けており、この問題を解決しようと様々なステント留置テクニックが開発されています。

ただし、分岐部病変に対してはテクニカルな面をクリアすれば上手く治療できるというものではありません。病変の解剖学的問題、生理学的問題、デバイスの特性等も知識として知っておかなければ、うまく対処することはできないと考えております。

そこで本コースのA to Zセッションでは、分岐部の解剖とその付近の血流状態、また分岐部でのデバイスの挙動の特徴等を理解していただきます。そして、最新の画像モダリティから得られる情報をいかに利用して至適なアウトカムへと導くかを議論させていただきます。その上で、新たなステント留置方法、並びにデバイスを紹介し、ライブデモンストレーションではそこで参加者が学んだことを実践することを計画しております。

Bifurcation コース ライブデモンストレーション

10月22日(土) ホリデイホールD

中継施設

豊橋ハートセンター

オペレーター

上野 勝己、木下 順久、松尾 仁司

※五十音順



【第一部】9:00-10:30

◎ 座長

加藤 修 (第1回 豊橋ライブスーパーバイザー)
鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

◎ コメンテーター

岡村 篤徳 (桜橋渡辺病院)
神谷 春雄 (名古屋第一赤十字病院)
近藤 泰三 (小牧市民病院)
村里 嘉信 (新行橋病院)



【第二部】10:50-12:30

◎ 座長

鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)
木下 順久 (豊橋ハートセンター)

◎ コメンテーター

川崎 友裕 (新古賀病院)
新家 俊郎 (神戸大学)
諏訪 哲 (順天堂大学医学部附属静岡病院)
七里 守 (名古屋第二赤十字病院)

Bifurcation コース

Bifurcation コース A to Z セッション

10月22日(土) ホリデイホールC

[Part 1] 13:30-14:30

座長：木下 順久（豊橋ハートセンター）

- 13:30 分岐部と分岐部ステントの病理
羽尾 裕之（兵庫医科大学）
- 13:50 分岐部の画像診断
新家 俊郎（神戸大学）
- 14:10 分岐部の形態学
村里 嘉信（新行橋病院）

[Part 2] 15:30-16:10

座長：木下 順久（豊橋ハートセンター）

- 15:30 分岐部ステンティング
ー心臓CTによる carina shiftの検証ー
川崎 友裕（新古賀病院）
- 15:50 材料工学から見た各種ステントの特徴
榎 学（東京大学）

CTO コース

COURSE OBJECTIVES

先駆者達から次世代への技術の伝承

CTO コース世話人 朝倉 靖
（豊橋ハートセンター）

PCIの創成期には、CTOに対するPCIは低い成功率と高い合併症率により最も治療困難な病変であるとされてきました。手技時間は従来のPCIよりも長くなり、放射線被曝量、並びに造影剤の量を増加させて治療したものの、慢性期の開存率が低く、欧米では冠動脈バイパス術が治療の第一選択として考えられてきました。

一方、本邦では患者の負担を軽減するためにCTOをPCIにより治療しようと先駆者たちは日々、努力を続け様々なテクニックとデバイスを開発しました。その結果、90年代には世界で最も高いCTO治療の成功率を誇る国という、日本の地位を確立するに至りました。しかし、手技成功率は向上したものの、開存率には課題が残されましたが、薬物溶出ステント(DES)により大きな変化が生まれました。

DESの導入を見越して、欧米では日本の技術を学ぼうという活動が活発になり、我々が培ったテクニックとデバイスが世界に出るまでに至りました。そして、CTO-PCIの領域では日本が最も進んだ国であることは周知の事実となりました。

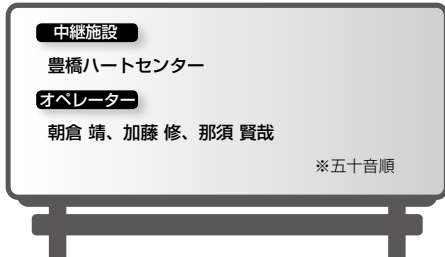
CTOコースでは、これまで我々が経験にて学んだCTO-PCIのテクニックをライブデモンストレーションできめ細やかに解説し、A to Zセッションでその真髄を理解いただきます。解剖学的な観点からCTOを学び、その問題点を理解し、手技成功を高めるTips & Tricksなども紹介します。さらに、合併症とその対策法も紹介します。

教育に主眼をおき、日本が次の世代でもCTO-PCIのリーダーとしてのポジションを確立させるためのプログラムをご提供いたします。

CTO コース

CTOコース ライブデモンストレーション

10月21日(金) ホリデイホールD



【第一部】13:00-15:00

◎ 座長

朝倉 靖 (豊橋ハートセンター)
鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

◎ コメンテーター

五十嵐 康己 (北海道社会保険病院)
西垣 和彦 (岐阜大学)
平山 治雄 (名古屋第二赤十字病院)
山根 正久 (石心会狭山病院)



【第二部】15:20-17:30

◎ 座長

加藤 修 (第1回 豊橋ライブスーパーバイザー)
鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

◎ コメンテーター

川崎 友裕 (新古賀病院)
木島 幹博 (星総合病院)
西川 英郎 (三重ハートセンター)
藤田 勉 (札幌心臓血管クリニック)

CTOコース A to Z セッション

10月22日(土) ホリデイホールC

9:00-12:20

座長：朝倉 靖 (豊橋ハートセンター)

- 9:00 CTO-PCIにおけるMDCTの意義
五十嵐 慶一 (北海道社会保険病院)
- 9:20 CTO-PCIのためのAngiographyの振り方と読み方
桜田 真己 (所沢ハートセンター)
- 9:40 CTO-PCIに用いるガイドワイヤの使い分け
角辻 暁 (大阪大学/野崎・名古屋徳洲会病院)
- 10:00 各種マイクロカテーテルの使い方
山根 正久 (石心会狭山病院)
- 10:20 合併症と対策
川崎 友裕 (新古賀病院)
- 10:40 PCIの適応をどう考えるか？
一患者背景、病変背景、術者背景—
濱崎 裕司 (昭和大学)
- 11:00 PCIのエンドポイントをどう考えるか？
一術者、症例による違い—
村松 俊哉 (済生会横浜市東部病院)
- 11:20 失敗症例をどうすべきか？
一内科？外科？再トライ？紹介？それとも？—
木島 幹博 (星総合病院)
- 11:40 どのようにPCIを学ぶか？
一成功率向上の秘訣—
五十嵐 康己 (北海道社会保険病院)
- 12:00 誰がどこまでPCIをしてよいか？
一術者のガイドラインと倫理—
鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

Calcification コース

Calcification コース

COURSE OBJECTIVES

DES 時代の Lesion Modification

Calcification コース世話人 松原 徹夫
(名古屋ハートセンター)

薬物溶出ステント(DES)時代となり、高度石灰化病変の治療は新たなステージを迎えました。ステントからリリースされる薬剤による遠隔期の新生内膜抑制効果は顕著なものの、高度石灰化はステントの完全拡張を妨げ、血管壁へ十分に薬剤を浸透させないため、このような症例ではロータブレードが重要な役割を果たします。

ロータブレードの使用にはいくつかの目的があります。その第1が石灰化したプラークを十分に切除し、その後完全拡張を得ることです。Calcification コースのライブデモンストレーションでは、石灰化病変に対する治療に豊富な経験を持つ術者が自ら体得した技術と経験を1つ1つ詳細な説明を加えて解説するよう企画しています。

また、A to Zセッションでは、石灰化病変の問題点を把握するため解剖学的な観点から学ぶ基礎講座からデバルキングデバイスの適切な使用から得られる至適インターベンション、さらには、合併症とその対策について専門家をお招きし、講義していただきます。そして、ロータブレードが使用できない施設の術者に対しても、石灰化病変で至適拡張を得られるために用いるデバイスやテクニックを紹介します。

Calcification コース A to Z セッション

10月21日(金) ホリデイホールC

[Part 1] 13:00-14:30

座長：松原 徹夫 (名古屋ハートセンター)

13:00 病理からみた冠動脈石灰化とPCI

石灰化病変病理学的検討、画像診断(造影、IVUS、OCT、CT)、石灰化病変の問題(ステント拡張不良等)
井上 勝美 (小倉記念病院)

13:30 石灰化病変に対するデバイスとテクニック

治療デバイス(ロータブレード、DCA、その他)、
デバイスデリバリーフェリアー対策、適切なロータ
ブレードの使い方(低速 vs 高速回転)
大辻 悟 (東宝塚さとう病院)

14:00 デバルキング vs Non-デバルキング治療戦略

カッティングバルーン、スコアフレックスの有効使用、
ロータ使用禁止施設に対する高度石灰化治療戦略
一症例から学ぶnon-debulking strategy -
藤田 勉 (札幌心臓血管クリニック)

[Part 2] 15:00-16:00

座長：松原 徹夫 (名古屋ハートセンター)

15:00 石灰化病変における合併症と対策

デバルキングデバイスの合併症とその対策(穿孔、
slow-flow/no reflow)、冠動脈穿孔に対する処置
(低圧バルーンインフレーション、カバードステント、
グラフトステント)
北山 道彦 (金沢医科大学)

15:30 石灰化病変の臨床成績

一至適アウトカムを求めて—
石灰化病変のDES治療成績
濱崎 裕司 (昭和大学)

イメージングコース

イメージングコース

COURSE OBJECTIVES

バスキュラーインターベンショニストと カタラボスタッフに求められる画像診断

イメージングコース世話人 本江 純子
(岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院)

“Beyond Angiography”というコンセプトが掲げられた1990年代後半から15年近くが経過しましたが、循環器領域における画像診断技術の進歩は目覚ましく、こうした画像診断を駆使することでより良い治療成績が得られるようになりました。それらの診断技術の代表が血管内超音波診断法(IVUS)です。我々はIVUSを日常臨床に用いることで、冠動脈造影から得られる情報に加えて、血管内のプラーク形態、プラーク量、プラーク分布などの情報を加味することで、安全かつクオリティの高いPCIを行うことができるようになりました。また、ステント留置後に高圧拡張を行い、抗血小板薬を2剤併用するという現在のプロトコルが確立するに至る過程で、IVUSの果たした役割は非常に重要なものでした。

画像技術の進歩は、術者の技術の向上にもつながり、新たなテクニックも生まれました。我々の先人が発信したIVUSガイドワイヤリングテクニックがその代表であり、末梢血管インターベンション領域ではエコーガイドワイヤリングテクニックなどが世界から注目されるようになりました。また、64列マルチスライスCTの導入に伴い、CTガイドPCIが登場しました。冠動脈の解剖や走行を事前に確認することにより、ガイドワイヤの進行ルートを同定し、手技時間の短縮や成功率の向上という結果に結びつきました。また、PCIのみならず、vulnerable plaqueを同定することで、将来的な虚血イベントの予測・予防がクローズアップされています。

イメージングコースでは、これまで我々が培ったイメージングガイドPCIを後世の医療従事者へ伝えることに主眼を置きます。本コースではIVUS、OCT、CTを中心に画像の読み方から臨床応用について、それらの領域の専門家をお招きし、参加者に学んでいただく場を提供いたします。

Calcification コース ライブデモンストレーション

10月22日(土) ホリデイホールD

中継施設

豊橋ハートセンター

オペレーター

上野 勝己、土金 悦夫、松尾 仁司

※五十音順

【第一部】13:30-15:00

◎ 座長

加藤 修 (第1回 豊橋ライブスーパーバイザー)
鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

◎ コメンテーター

臼田 和生 (富山県立中央病院)
金谷 法忍 (石川県立中央病院)
濱崎 裕司 (昭和大学)
藤田 勉 (札幌心臓血管クリニック)

【第二部】15:30-17:30

◎ 座長

鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)
松原 徹夫 (名古屋ハートセンター)

◎ コメンテーター

五十嵐 慶一 (北海道社会保険病院)
岡田 尚之 (聖隷浜松病院)
金城 昌明 (市立四日市病院)
北山 道彦 (金沢医科大学)

イメージングコース

イメージングコース A to Z セッション

10月22日(土) 桜の間

[Part 1] 13:30-14:30

座長：本江 純子

(岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院)

13:30 冠動脈CT：

実地臨床におけるCT画像の使い方

江原 真理子 (豊橋ハートセンター)

13:50 Grayscale IVUS

ーIVUSガイドPCIの基本編ー

本江 純子

(岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院)

14:10 OCTガイドPCIと各種DESの

ストラット被覆状態

藤井 健一 (兵庫医科大学)

[Part 2] 15:00-15:40

座長：本江 純子

(岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院)

15:00 血管内視鏡のPCIへの応用

ー各種DESの被覆状態ー

上野 高史 (久留米大学)

15:20 Physiological Assessment vs

IVUSガイドPCI

ーそれぞれの判定基準ー

田中 信大 (東京医科大学)

長期予後改善コース

COURSE OBJECTIVES

DES時代のOptimal Medical Therapy

長期予後改善コース世話人 松井 英夫
(松井医院)

薬物溶出ステント(DES)時代の到来により、これまでカテーテルインターベンションを悩ませてきた再狭窄の問題は克服されつつありますが、DESが長期予後を改善するかどうかには至っては未だ結論はついておらず、むしろ否定的な意見が多いのが現状です。長期予後改善のためには、その根底にあるアテローム性動脈硬化症と危険因子の管理が重要な役割を担います。

ここでは、カテーテル治療を実施するPCI専門医とその後の患者ケアを担うプライマリケア医を対象として、Optimal Medical Therapyに焦点を当てたコースを提供します。このコースでは脂質代謝異常、高血圧、血栓症等の長期予後に影響を与える疾患について、国内の専門家を招いてガイドラインや最新の薬物療法について様々な立場からディベートを行い、参加される先生方に最新の知見を学んでいただきます。

私自身、名古屋大学に12年間在局し、循環器内科を専門として主に高血圧、脂質代謝異常、虚血性心疾患の診療にあたりるとともに、インスリン抵抗性や糖尿病、脂質代謝異常などの危険因子と動脈硬化との関連についての研究に携ってきました。現在は、地元豊橋に戻り、プライマリケア医として術後の長期予後改善に取り組んでおります。このコースでは、専門医とプライマリケア医の病診連携の重要性も議論いただけるような場にしたいと考えております。

長期予後改善コース

長期予後改善コース 教育レクチャー

10月22日(土) 楓の間

9:30-10:10

座長：井澤 英夫
(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院)

カテーテル治療後の心臓リハビリテーション最前線
-PCIに関わる全ての医療従事者へ-

山田 純生 (名古屋大学)

長期予後改善コース エキスパート ディベート

10月22日(土) 楓の間

[Part 1] 11:00-11:50

座長：味噌 正純 (陶生病院)

抗血小板療法：2剤併用療法はいつまで行うか？

■ 1年以内で中止

豊福 守 (土谷総合病院)

■ 本当に中止していいんですか？

上野 高史 (久留米大学)

[Part 2] 13:30-14:20

座長：松井 英夫 (松井医院)

高血圧：ACE-IとARBのどちらがfirst choiceか？

■ ACE-I

横井 宏佳 (小倉記念病院)

■ ARB

佐田 政隆 (徳島大学)

[Part 3] 15:00-15:50

座長：石井 秀樹 (名古屋大学)

脂質異常：LDLコレステロールはどこまで下げるべきか？

■ 積極的脂質低下療法

土肥 智貴 (順天堂大学)

■ 適度脂質低下療法

坂本 知浩 (済生会熊本病院)

インダストリーコース

インダストリーコース

COURSE OBJECTIVES

最新の医療材料の可能性を探る

インダストリーコース世話人 土谷 浩一
〔独〕物質・材料研究機構

現在、PCI医療デバイスに用いられている材料は金属から高分子まで非常に多岐に渡っており、同時に日々変遷し続けています。ステントの材料ひとつを見てもステンレスから始まり自己拡張型ステントのニチノール、視認性に優れたコバルトクロムと発展し、薬物溶出ステント(DES)用の生分解性高分子、さらにはチタン合金や生分解ステント用マグネシウム合金についても研究が進んでいます。今後、脳血管ステントなどの小型薄肉のデバイスにはさらに高剛性な素材が求められると予想されます。

この様に新材料の開発は新しい医療技術を可能にし、また新しい医療技術はそれまでに無い革新的な材料技術を求めて来ました。その意味で材料科学と医療技術はお互いに刺激しあい、インスピレーションを与えあいながら発展してきたと言えるでしょうし、将来もそうあり続ける事でしょう。

本コースでは、医療関係者と材料技術者の交流の場を実現するために、材料分野の最先端で活躍されている気鋭の研究者の方々に、既存の医療デバイス材料に関する基礎知識から最新の材料研究動向までを網羅する講演を御願ひしております。本コースが医療関係者の方々に正しい材料知識を身につけて頂くのに役立つのと同時に、新しい医療デバイス開発のインスピレーションを与える事ができれば幸いです。

10月21日(金) ホリデイホールA

10:00-12:50

座長：土谷 浩一（〔独〕物質・材料研究機構）
コメンテーター：池野 文昭（Stanford University）
鈴木 孝彦（豊橋ハートセンター）

10:00 低侵襲医療に役立つ生体親和型ポリマーバイオマテリアル
石原 一彦
（東京大学マテリアル工学科 マテリアル工学専攻）

10:25 医療デバイス材料としての形状記憶合金・チタン合金
土谷 浩一
〔独〕物質・材料研究機構 構造材料ユニット

10:50 ステント用コバルト合金の現状と将来展望
千葉 晶彦（東北大学金属材料研究所）

11:15 医療用金属材料の生体適合性とその評価
山本 玲子
〔独〕物質・材料研究機構 生体機能材料ユニット

11:40 再生医療のための高分子足場材料
陳 国平
〔独〕物質・材料研究機構 生体組織再生材料ユニット

12:05 自己治癒を誘導するバイオマテリアルの創製
田口 哲志
〔独〕物質・材料研究機構 生体機能材料ユニット

12:30 ディスカッション

〔共催企業〕

アボット バスキュラー ジャパン株式会社、
株式会社島津製作所、ゼオンメディカル株式会社、
テルモ株式会社、日本メドトロニック株式会社

— インダストリーコース情報交換会 —

10月21日(金) 13:00-15:00 桜の間

デバイス開発に関わる全ての医療従事者、研究者、技術者および企業の皆様の交流の場として懇親会を設けました。

コメディカルコース

コメディカルコース

COURSE OBJECTIVES

先駆者達から次世代への技術の伝承

コメディカルコース世話人 稲田 毅
(岐阜ハートセンター)

昨今、カテーテル室においてコメディカルの担う役割は増し、術中の患者ケアはもとより、術者のディシジョンメイキングにも高い専門性を持つコメディカルスタッフの助言が影響し、手技の成否にも関わってきます。それ故にコメディカルスタッフの責任も大きくなり、コメディカルスタッフを対象とした真の教育コースが求められています。

東海ライブ研究会が実施したアンケートでも「コメディカルを対象としたライブ、研究会を通じて、専門施設のスタッフがどのようにカテーテル室を支えているのか学びたい」という意見が多かったことが本コースの開催に至った経緯です。

コメディカルコースでは、全国の専門施設からカテーテル室で中心的な役割を担うコメディカルスタッフを講師に迎えて、パネルディスカッション、ハンズオン、並びに教育セミナーを丸1日にわたり提供します。今までにない専門性の高い教育コースになるようスタッフ一同、準備を進めてきました。

参加していただいた皆様が様々な観点から議論できるようなコースにしたいと願っております。

パネルディスカッション

10月22日(土) ホリデイホールB

[Part1] 9:00-10:20

座長：添田 信之（星総合病院）

スーパーバイザー：稲田 毅（岐阜ハートセンター）

ACS: door to balloon timeを短縮するための工夫

9:00 岐阜ハートセンターにおける door to balloon time
【看護師】大築 理和（岐阜ハートセンター）

9:15 榊原記念病院における door to balloon time
短縮への工夫
【放射線技師】武田 和也（榊原記念病院）

9:30 当院での取り組み - 臨床検査技師の立場から -
【臨床検査技師】納口 英次（心臓血管研究所付属病院）

9:45 北海道社会保険病院における door to balloon
time 短縮の取り組み
【臨床工学技士】平田 和也（北海道社会保険病院）

10:00 ディスカッション

[Part2] 11:00-12:20

座長：島袋 朋子（湘南鎌倉総合病院）

スーパーバイザー：稲田 毅（岐阜ハートセンター）

心カテスタッフがカテ業務を好きになるために -カテ業務はこんなに面白い-

11:00 カテ業務はこんなに面白い???
【臨床工学技士】赤松 俊二（滋賀県立成人病センター）

11:15 心カテ室におけるモチベーション
【臨床工学技士】木下 昌樹（岡崎市民病院）

11:30 カテはすきですか? -カテ室業務のやりがいとは-
【放射線技師】口ノ町 俊嗣（豊橋ハートセンター）

11:45 こんなときはどうする!?
【看護師】中村 康雄（富士病院）

12:00 ディスカッション

コメディカルコース

教育セッション

10月22日(土) ホリデイホールB

[Part 1] 13:30-14:50

スーパーバイザー：稲田 毅 (岐阜ハートセンター)

座長：納口 英次 (心臓血管研究所付属病院)

13:30 心電図・心内圧の基礎

木下 昌樹 (岡崎市民病院)

13:50 ペースメーカ補込みの基礎

辻井 正人 (三重ハートセンター)

14:10 デバイス

清水 速人 (倉敷中央病院)

14:30 デバイス

山口 敏和 (名古屋ハートセンター)

[Part 2] 15:30-16:30

スーパーバイザー：稲田 毅 (岐阜ハートセンター)

座長：平田 和也 (北海道社会保険病院)

15:30 補助循環

赤松 俊二 (滋賀県立成人病センター)

15:50 合併症の基礎

稲田 毅 (岐阜ハートセンター)

16:10 MDCT の基礎

渡邊 和樹 (ハートクリニックさわだ)

ハンズオン

10月22日(土) ホリデイホールA

◎ UCG (心臓・四肢・頸動脈・腎動脈)

共催：東芝メディカルシステムズ株式会社

午前の部 11:00-12:30 / 午後の部 14:30-16:00

《血管工コー》

【講師】大竹 恵 (春日井市民病院)

【講師】友松 美穂 (春日井市民病院)

《心臓工コー》

【講師】杉本 邦彦 (藤田保健衛生大学病院)

※ 参加方法は、総合受付にてお問合わせください。

◎ MDCT (画像作成)

午前の部 10:30-11:30 / 午後の部 14:30-15:30

【講師】川合 正人 (名古屋ハートセンター)

冠動脈の画像作成の基礎から、
撮影方法、症例検討などをご紹介します。

－内容－

1) 画像の作り方

冠動脈のスクリーニング…CPR、MIP、
短軸断面、VR

2) きれいな画像を撮るには

撮影の工夫、心拍コントロール

3) 症例から学ぶ

プラークの評価、石灰化の評価、ステント
の評価、Af (アブレーション施行前、施
行後の画像作成)

※ ご自由に参加頂けますので是非お立ち寄りください。

◎ IVUS Learning Center

共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

1部 11:00-12:00 Standard Course

【講師】山口 敏和 (名古屋ハートセンター)

2部 14:00-15:00 Advance Course

【講師】 平田 和也（北海道社会保険病院）

3部 15:30-16:30 Advance Course

【講師】 添田 信之（星総合病院）

※ 参加は事前登録のみとなります。

◎ PCI ハンズオン PCI デバイスの理解を深める

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

【1部】 8:30 - 9:30
【2部】 9:30 - 10:30
【3部】 15:00 - 16:00
【4部】 16:00 - 17:00

【講師】 山口 敏和（名古屋ハートセンター）

※ 参加は事前登録のみとなります。

◎ ベースメーカー

共催：日本メドトロニック株式会社

午前の部 10:30-11:30：定員 6名

【講師】 辻井 正人（三重ハートセンター）

初心者用ベースメーカークリニック

午後の部 14:00-15:00：定員 6名

【講師】 松尾 和広（日本メドトロニック株式会社）

初心者用ベースメーカークリニック

午後の部 15:30-17:00：定員なし

【講師】 辻井 正人（三重ハートセンター）

植込みデバイスクリニック
ICD Free ハンズオンセミナー

※ 参加方法は、総合受付にてお問合わせください。

10月20日(木)【ホリデイホールC】

■ 18:00-20:00

共催セッション

🍷 本セッションでは軽食をご用意しております。

OCT症例討論会 @ 豊橋ライブ

総合司会：鈴木 孝彦（豊橋ハートセンター）

座長：上野 勝己（岐阜ハートセンター） 寺島 充康（豊橋ハートセンター）

演題 FD-OCTの基礎と画像の読み方

OCT基礎講演 演者 久保 隆史（和歌山県立医科大学）

演題 Rotablator施行後にOCTで興味深い画像を得た1例

OCT症例呈示 演者 鈴木 頼快（名古屋ハートセンター）

演題 OCTおよびIB-IVUSによる組織性状の比較

OCT症例呈示 演者 安藤 博彦（中部ろうさい病院）

演題 LAD ostialに留置されたCypher stentのlate catch-upの一例 -FD-OCTの使用経験-

OCT症例呈示 演者 岡田 尚之（聖隷浜松病院）

演題 蜂巣状の冠動脈病変をOCTにて観察し得た2症例

OCT症例呈示 演者 香川 雄三（土谷総合病院）

演題 SES留置4年後に、OCTにてStent内に不安定病変を認めた一例

OCT症例呈示 演者 高橋 稔（立川総合病院）

共催：株式会社グッドマン、セント・ジュード・メディカル株式会社

■ 20:00-22:00

共催セッション

🍷 本セッションではお食事をご用意しております。

症例検討会

座長：鈴木 孝彦（豊橋ハートセンター） 西川 英郎（三重ハートセンター）

平山 治雄（名古屋第二赤十字病院）

コメンテーター 金谷 法忍（石川県立中央病院） 土井 修（静岡県立総合病院）

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

10月21日(金)【ホリデイホールD】

■ 9:00-10:30

共催セッション

CCTイメージング @ 豊橋ライブ【第一部】

9:00-10:20

オペレーター：那須 賢哉（豊橋ハートセンター） 松尾 仁司（岐阜ハートセンター）

座長：寺島 充康（豊橋ハートセンター）

コメンテーター 池野 文昭（Stanford University） 田中 信大（東京医科大学）

中村 正人（東邦大学医療センター大橋病院） 七里 守（名古屋第二赤十字病院）

10:20-10:30 ミニレクチャー

座長：寺島 充康（豊橋ハートセンター）

演題 FFRの臨床における有用性

演者 田中 信大（東京医科大学）

共催：株式会社グッドマン、セント・ジュード・メディカル株式会社、ボルケーノ・ジャパン株式会社

■ 10:30-12:00

共催セッション

CCTイメージング@豊橋ライブ【第二部】

10:30-11:50

オペレーター：那須 賢哉（豊橋ハートセンター） 松尾 仁司（岐阜ハートセンター）

座長：赤坂 隆史（和歌山県立医科大学）

コメンテーター

新家 俊郎（神戸大学）

園田 信成（産業医科大学）

藤井 健一（兵庫医科大学）

本江 純子（岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院）

11:50-12:00 ミニレクチャー

座長：赤坂 隆史（和歌山県立医科大学）

演題 FD-OCT guided PCI vs IVUS guided PCI

演者 羽原 真人（豊橋ハートセンター）

共催：株式会社グッドマン、セント・ジュード・メディカル株式会社、ボルケーノ・ジャパン株式会社

■ 12:00-13:00

🍴 ランチョンセミナー

PCI専門医に求められる術後の管理 - 残存リスク回避を目指して -

座長：中村 正人（東邦大学医療センター大橋病院）

演題 虚血性心疾患における脂質低下療法的重要性 - なぜコレステロール吸収阻害薬が必要なのか -

演者 石原 正治（広島市立広島市民病院）

演題 心血管イベント抑制のための糖尿病治療戦略

演者 横井 宏佳（小倉記念病院）

共催：MSD株式会社

■ 15:00-15:20

☕ コーヒーブ레이크セミナー

Non polymer jacket の新しい Tapered wire

座長：山根 正久（石心会狭山病院）

演題 ABYSS Series - 優れたトルク特性とその使用経験 -

演者 川崎 友裕（新古賀病院）

共催：ニプロ株式会社

■ 17:30-18:00

共催セッション

30分でわかる! マイクロカテーテル基礎講座 - Corsair で PCI がもっと楽になる! -

演者 山根 正久 (石心会狭山病院)

共催: 朝日インテック株式会社 / 朝日インテックJセールス株式会社

■ 18:00-20:00

共催セッション

☑ 本セッションではお食事をご用意しております。

Call for Cases - Impressive case of the year -

座長: 上野 勝己 (岐阜ハートセンター) 木下 順久 (豊橋ハートセンター)
スーパーバイザー: 加藤 修 (第1回 豊橋ライブスーパーバイザー) 鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

演者 氏家 勇一 (星総合病院) 開発 謙次 (加古川東市民病院)
中野 雅嗣 (済生会横浜市東部病院) 永松 航 (北摂総合病院)
船田 竜一 (心臓血管研究所付属病院)

スペシャルケース
プレゼンテーション 鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

共催: アポット バスキュラー ジャパン株式会社

10月21日(金) [ホリデイホールC]

■ 9:00-11:50

共催セッション

CTOガイドワイヤライブデモンストレーション

- CTO内でガイドワイヤの動きを観察する:

精巧な血管モデルを用いてエキスパートが各種ガイドワイヤの特徴と特性を伝承-

オペレーター: 上野 勝己 (岐阜ハートセンター) 氏家 勇一 (星総合病院)
北山 道彦 (金沢医科大学) 桜田 真己 (所沢ハートセンター)
角辻 暁 (大阪大学 / 野崎・名古屋徳洲会病院) 藤田 勉 (札幌心臓血管クリニック)
座長: 朝倉 靖 (豊橋ハートセンター) 山根 正久 (石心会狭山病院)
スーパーバイザー: 加藤 修 (第1回 豊橋ライブスーパーバイザー)

共催: 朝日インテック株式会社 / 朝日インテックJセールス株式会社、アポット バスキュラー ジャパン株式会社、
ニプロ株式会社、日本ライフライン株式会社

■ 12:00-13:00

🍴 ランチョンセミナー

PCI患者の術後の管理

座長：木下 順久（豊橋ハートセンター）

演題 PCI後の薬物インターベンションについて考えよう

演者 森野 禎浩（岩手医科大学）

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

■ 14:30-15:00

☕ コーヒーブレイクセミナー

石灰化病変に対するデバイスの有効な使用方法

座長：松原 徹夫（名古屋ハートセンター）

演題 Scoreflex：石灰化病変への挑戦

演者 鈴木 頼快（名古屋ハートセンター）

共催：オーパスネイチメディカル株式会社

■ 16:30-18:00

共催セッション

ステントのプロフェッショナリズム -金属工学、医用工学の理論と臨床での実践-

座長：上田 欽造（洛和会丸太町病院） 松原 徹夫（名古屋ハートセンター）

演者 岩崎 清隆（早稲田大学高等研究所） 山本 玲子（[独]物質・材料研究機構）

論者 伊藤 良明（済生会横浜市東部病院） 七里 守（名古屋第二赤十字病院）

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

10月21日（金）【ホリデイホールB】

■ 12:00-13:00

🍴 ランチョンセミナー

冠動脈疾患におけるメタボサルタンの役割

座長：松原 徹夫（名古屋ハートセンター）

演題 "PCI専門医に求められる術後管理" 生命予後改善にむけたPCIと薬物のハイブリッド療法

演者 佐田 政隆（徳島大学）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

■ 16:00-17:30

共催セッション

新世代 DES「ノポリ・シンポジウム」 - 病変別によるノポリの有用性を探る!! -

座長：平山 治雄（名古屋第二赤十字病院） 北山 道彦（金沢医科大学）

演題 「Ostium」

演者 及川 裕二（心臓血管研究所付属病院）

演題 「Small Vessel」

演者 岩淵 成志（小倉記念病院）

演題 「Bifurcation」


演者 挽地 裕（佐賀大学）

共催：テルモ株式会社

■ 17:30-18:40

共催セッション

安全性を追求した DES：Now and Future

 本セッションではお飲物をご用意しております。

座長：木村 祐之（豊橋ハートセンター）

演題 Endeavor に利用されるポリマーの生体親和性

演者 石原 一彦（東京大学）

演題 イメージングモダリティから見た Endeavor の安全性

演者 鈴木 頼快（名古屋ハートセンター）

演題 RESOLUTE

演者 木村 祐之（豊橋ハートセンター）

共催：日本メドトロニック株式会社

10月21日(金)【ホリデイホールA】

■ 14:30-15:00

コーヒーブレイクセミナー

循環器領域に従事する医療関係者へ

座長：正村 克彦（中村病院）

演者 寺島 充康（豊橋ハートセンター）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

10月22日(土) [ホリデイホールD]

■ 10:30-10:50

☀️ モーニングブ레이크セミナー

新アプリケーションの紹介

演題 治療支援アプリケーションについて -Dynamic Stent View- (仮)

演者 山口 敏和 (名古屋ハートセンター)

共催: 株式会社島津製作所

■ 12:30-13:30

🍴 ランチョンセミナー

冠動脈治療の最前線と術後のトータルケアについて

座長: 西川 英郎 (三重ハートセンター)

演者 桜田 真己 (所沢ハートセンター) 長山 雅俊 (榊原記念病院)

共催: テルモ株式会社

■ 15:00-15:30

☕ コーヒーブ레이크セミナー

病変別 Rotablator の治療戦略 -Simple or Aggressive ?-

座長: 五十嵐 慶一 (北海道社会保険病院)

演者 岡村 篤徳 (桜橋渡辺病院)

共催: ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

10月22日(土) [ホリデイホールC]

■ 12:30-13:30

🍴 ランチョンセミナー

できるIVUS -CTO 攻略への近道-

座長: 北山 道彦 (金沢医科大学)

演題 -IVUS ガイド CTO-PPI-

演者 鈴木 頼快 (名古屋ハートセンター)

演題 -IVUS ガイド CTO-PCI-

演者 木下 順久 (豊橋ハートセンター)

共催: ボルケーノ・ジャパン株式会社

■ 15:00-15:30

 コーヒーブレイクセミナー

冠動脈分岐部病変の治療戦略

座長：村里 嘉信（新行橋病院）

演題 冠動脈分岐部病変の治療戦略

演者 木下 順久（豊橋ハートセンター）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

10月22日（土） [ホリデイホールB]

■ 10:30-11:00

 モーニングブレイクセミナー

冠疾患と不整脈

座長：金子 鎮二（豊田厚生病院）

演題 冠疾患と不整脈

演者 長内 宏之（陶生病院）

共催：トーアエイヨー株式会社

■ 12:30-13:30

 ランチョンセミナー

チーム医療を目指して

座長：稲田 毅（岐阜ハートセンター）

演者 山口 敏和（名古屋ハートセンター）

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

■ 15:00-15:30

 コーヒーブレイクセミナー

近年のIABP - コメディカルの観点から -

座長：稲田 毅（岐阜ハートセンター）

演題 「IABP」ショートバルーンの設計・開発・臨床効果と将来

演者 添田 信之（星総合病院）

共催：ゼオンメディカル株式会社

10月22日(土) 【桜の間】

■ 9:00-10:00

共催セッション

最新のエコー機能を用いて虚血性心疾患を診てみよう！

座長：大手 信之（名古屋市立大学）

演題 虚血性心疾患における、心エコー図検査の活用

演者 若見 和明（名古屋市立大学）

共催：東芝メディカルシステムズ株式会社

■ 10:10-10:40

☀ モーニングブレイクセミナー

心臓リハビリテーション -運動能力に着目して-

座長：栗田 泰郎（豊橋ハートセンター）

演者 井澤 和太（聖マリアンナ医科大学）

共催：フクダ電子株式会社

■ 10:50-12:20

共催セッション

よく解るFFR

座長：田中 信大（東京医科大学）

演題 冠循環とFFRの基礎

演者 高島 浩明（愛知医科大学）

演題 FFR 臨床応用とPitfall

演者 松尾 仁司（岐阜ハートセンター）

共催：ポルケーノ・ジャパン株式会社

■ 12:30-13:30

🍴 ランチョンセミナー

OCTが光を照らすPCIの未来

座長：本江 純子（岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院）

演題 TD/FD-OCTの臨床応用における違いと有用性

OCT特別講演者 高野 雅充（日本医科大学千葉北総病院）

演題 日常臨床におけるOCTの有用性

OCT症例呈示演者 松原 隆夫（石川県立中央病院）

共催：株式会社グッドマン、セント・ジュード・メディカル株式会社

■ 14:30-15:00

☕ コーヒーブレイクセミナー

造影剤腎症

座長：細川 博昭（ひがし循環器クリニック）

演題 腎臓医からみた造影剤腎症

演者 宇佐美 潤（豊橋市民病院）

共催：第一三共株式会社

■ 16:00-17:00

共催セッション

Great DEBATE –FFR Pros vs. Cons–

座長：村松 俊哉（済生会横浜市東部病院）

演題 FFR –私はFFRの有用性を信じます–

FFRグループ演者 松尾 仁司（岐阜ハートセンター）

サポーター 田中 信大（東京医科大学） 野崎 洋一（北光記念病院）

演題 FFR –そこまで信頼すべきか??? –

IVUSグループ演者 角辻 暁（大阪大学 / 野崎・名古屋徳洲会病院）

サポーター 鹿島 由史（札幌心臓血管クリニック）

本江 純子（岐阜ハートセンター / 府中恵仁会病院）

共催：ボルケーノ・ジャパン株式会社

10月22日（土）【櫃の間】

■ 10:30-11:00

☀ モーニングブレイクセミナー

循環器領域における病診連携

座長：鈴木 健（豊川市民病院）

演題 東三河 PCI 後連携パス –実現に向けての取り組み–

演者 松井 英夫（松井医院）

共催：アステラス製薬株式会社

■ 11:50-12:20

共催セッション

抗血小板療法を継続するために

演題 抗血小板療法の問題点と対策

演者 一色 高明（帝京大学）

共催：武田薬品工業株式会社

■ 12:30-13:30

🍴 ランチョンセミナー

術後の長期予後改善を目指して

座長：横井 宏佳（小倉記念病院）

🎤 演題 血管内治療における抗血小板療法の最前線

👤 演者 西川 政勝（三重大学）

共催：大塚製薬株式会社

■ 14:30-15:00

☕ コーヒーブレイクセミナー

PCIとβ遮断薬

座長：平光 伸也（平光ハートクリニック）

🎤 演題 虚血性心疾患、特に労作性狭心症の治療はPCIで完結できるか？
-PCI専門医が提案するPCIと薬物のハイブリッド療法-

👤 演者 芦田 和博（横浜新都市脳神経外科病院）

共催：田辺三菱製薬株式会社

協賛企業一覧

《プラチナ》

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
アボットバスキュラー ジャパン株式会社
テルモ株式会社
MSD 株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社
バイエル薬品株式会社
武田薬品工業株式会社

《ゴールド》

セント・ジュード・メディカル株式会社
ボルケーノ・ジャパン株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
ゼオンメディカル株式会社
日本メドトロニック株式会社
株式会社島津製作所

《ブロンズ》

株式会社グッドマン
大塚製薬株式会社
オーバースネイチメディカル株式会社
田辺三菱製薬株式会社
日本ライフライン株式会社
フクダ電子株式会社
アステラス製薬株式会社
シーメンス・ジャパン株式会社
株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン
アストラゼネカ株式会社
興和創薬株式会社
オーベクス株式会社
株式会社カネカメディックス
シーマン株式会社
ファイザー株式会社
持田製薬株式会社

《シルバー》

サノフィ・アベンティス株式会社
ニプロ株式会社
朝日インテック株式会社
朝日インテックJセールス株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
第一三共株式会社
トーアエイヨー株式会社

2011年10月12日現在

本会の運営にあたり、上記企業よりご協賛いただきました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

第1回 豊橋ライブデモンストレーションコース
代表世話人 鈴木 孝彦